

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	金沢市家庭教育支援チーム (呼称: 劇団「棒読み座」) URL: http://bouyomiza.exblog.jp
活動開始年度	平成 13 年度
活動拠点	教育プラザ富樫
活動範囲	金沢市・野々市市・白山市・川北町・能美市・内灘町・津幡町・かほく市
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (金沢子ども週間行事にて演劇上演→金沢市より謝礼 など)
組織体制	10 人 石川県子育てサポーターリーダー、歯科医師、小中高 PTA 会長・副会長 経験者など
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 ・子育てに関する保護者対象のワークショップ 保護者の要望に沿ってカリキュラムを作成し、ワークショップを通じて子育てを考えてもらう。 ・大学生を対象にした演劇ワークショップ 金沢にある北陸学院大学の1・2年生を対象にした演劇ワークショップの実施。 実施回数は年3回実施。 ・金沢市子ども週間での親子向け創作演劇の上演 10月に実施される金沢市子ども週間のイベントに、親子と一緒に鑑賞できる創作劇を上演。作品数は続編も含めて16作に上る。
活動の成果	・それぞれの時代に応じた問題や課題をテーマに受講者の要望に沿ったワークショップとして展開しており受講者からは好評を得ている。 ・将来、教育に関わる職業に就きたい意欲を持って学んでいる大学生たちのコミュニケーション能力のスキルアップに繋がるということで、毎年受講者が増え、今年度は20名の受講者募集枠となった。 ・創作劇は、子どもたちに好評で、観劇の間は子どもたちも集中して見てくれており、1日2回の公演に200名を超える観客が楽しんでくれている。

活動において苦労した点や課題	<p>・活動を開始した時から17年を経過して、座員の年齢も高齢化(引退)したり、家庭の事情(親の介護)等で活動に参加できなくなった方たちもいて、発足当初より人数は少なくなっており、新しい座員もそれほど増えていない状態が深刻化しているので、今後の活動の継続が喫緊の課題である。</p>
今後の活動目標	<p>・子育てに悩む保護者からの要望がある限り活動を継続していきたい。</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等)金沢市教育委員会生涯学習課 (TEL)(076)220-2441 (E-mail)syougaku@city.kanazawa.lg.jp</p>